

えひめ 地域づくり協働体通信

今号では、2018年9月に越智郡上島町弓削佐島で開業した「book cafe okappa」を運営している鈴木彩美さんと武田由梨さんから取材しました。同カフェでは、元保育所をリノベーションし、地元で栽培された食材をふんだんに使ったランチ（土・日限定）や軽食などを提供しています。のどかで景観が素晴らしい佐島に訪れた際には、ぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか？

本紙が皆さまの地域での活動のご参考になれば幸いです。

上島町弓削佐島

キーワード：移住、空き家のリノベーション、地元食材の活用、SNS

★上島町弓削佐島について

上島町弓削佐島は、瀬戸内海のほぼ中央にある芸予諸島の一つの島です。弓削瀬戸をはさんで、弓削島の南西に隣接し、弓削島との間には弓削大橋が架かっています。北は生名島と隣接しており、生名島との間には生名橋が架かっています。西に岩城島、赤穂根島などがあります。風光明媚で素晴らしく、サイクリストに人気の高い地域です。



瀬戸内海に浮かぶ佐島



佐島港前に架かる生名橋

上島町弓削佐島

★「book cafe okappa」を開業するまでの経緯

佐島にあるゲストハウス「汐見の家」のオーナーに紹介されたのをきっかけとして二人とも東京から移住し、町役場所有で元保育所であった建物を借りて、友人の大工さんや地元の学生さんにも手伝ってもらいながら5ヶ月かけて改修し、「book cafe okappa」を2018年9月に開業しました。使用している古材やテーブル、ソファなどは、佐島にある解体予定の家から頂いてきたものが多いそうです。

「okappa」の由来は、二人ともオカッパ頭だったからです。通常の営業時間は午前9時から午後5時までで、定休日は火・水曜日。ランチは土日限定。おすすめのメニューは、卵と乳製品不使用で小豆がたくさん入った「台湾スイーツ豆花^{トーフナー}」。



鈴木彩美さん（左）と武田由梨さん

★上島町弓削佐島の現状と課題について

上島町弓削佐島の人口は、約500人と年々減少し高齢化も進行しています。コンビニやスーパーはなく、日用品を購入するには弓削島や因島まで行かなければなりません。しかしながら、瀬戸内海に浮かぶ地理的環境から豊かな自然と海の恵みに満たされているため、島民の方は気さくで心が穏やかな人が多いそうです。

今後、どのようにすれば島に人を呼び込めるかが大きな課題ですが、幸いサイクリストに人気の高い地域であることから、まずは交流人口の拡大や地域についての情報発信に努め、さらには近隣の生名島・弓削島とも連携・協働しながら「観光」を核に、自立促進に向けて関係性の構築を図っていく必要があるのではないのでしょうか。

★お二人について

Q. お二人が出会ったきっかけと現在のお住まいは？

A. 二人とも東京で暮らしていたが、偶然にも同じ時期に佐島へ移住することを決めていて、ゲストハウス「汐見の家」のオーナーが、2016年10月に東京で引き合わせたのがきっかけです。すっかり意気投合し、出会って半年後には、佐島の古民家で一緒に暮らすことになりました。

Q. 佐島に移住しようと思ったきっかけは？

A. <鈴木さん>もともと瀬戸内海が好きで、ネット検索で見つけた佐島へ旅行したのがきっかけ。
<武田さん>前職が一段落した時に「汐見の家」のオーナーに誘われ、佐島を訪れたのがきっかけ。

Q. 前職は何をされていましたか？

A. <鈴木さん>雑貨屋さんの店員です。
<武田さん>ゼネコンの社員です。



book cafe okappa

★「book cafe okappa」について

Q. ブックカフェをしようと思ったきっかけは？

A. 人が集まる場をつくりたいと思ったからです。

Q. 来店客層はどのような方が多いのですか？

A. 20代～80代と年齢層は幅広く30代の子ども連れの方も多いです。

Q. 食材はどこから仕入れているのですか？

A. 地元の産直市や農家から直接仕入れています。地元産が多いです。

Q. 二人で営業されているメリットとデメリットは何ですか？

A. メリットは仕事の分担ができ、余裕をもって接客できることです。デメリットは特にありません。

Q. 「book cafe okappa」が地域活性化にどのように関わっていると思いますか？

A. 佐島にある唯一のカフェであり、地元の方の「憩いの場」や高齢者の方の居場所づくりとして機能していると思います。

Q. 現在の課題や今後の目標などは？

A. 佐島の課題は、借りられる空き家が明らかに少ないことです。okappaの課題は、店内でイベントを企画・運営し、フェイスブックやインスタグラムを通じて店の魅力を発信し、周知活動の強化を図ることです。今後の目標としては、人が集える場所を提供することが最も大切であると考えているので、店内の奥を改装し、オープンスペースをつくりたいと思っています。



おすすめメニューは「台湾スイーツ豆花」(上)と「かりんシロップジュース」

★取材後記

お二人とも終始笑顔が絶えない方でした。島の生活が大変楽しく、自分たちの手で作り上げられることに魅力を感じているとのこと。また、会員制交流サイトSNSなども活用され、島の何気ない風景を日々情報発信されています。

本紙でご紹介しました「book cafe okappa」の地域活性化に向けた取り組みが、愛媛県内各地域で活動されている皆さまのご参考になれば幸いです。

この情報誌の関係サイト/「えひめ地域づくり協働体」

Facebook

地域の活動情報の連絡先/この情報誌に関するお問合せ先

愛媛県企画振興部地域政策課

TEL: 089-912-2236 E-mail: chiikiseisak@pref.ehime.lg.jp

(公財) えひめ地域政策研究センター

TEL: 089-926-2200 E-mail: info@ecpr.or.jp